

(別紙5)

整理番号 2017P-077
補助事業名 平成29年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人とくしま未来健康づくり機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

徳島県の平成28年度乳がん検診の県南部・県西部の中山間地域における受診者数は2,998人で、そのうち71.4%に当たる2,142人が検診車で受診している。このような状況のなか、県内唯一のマンモグラフィ検診車の更新が急務となっていた。そこで、最新鋭の撮影機器を搭載したマンモグラフィ検診車を整備し、医療機関の少ない地域も含め県内全域をくまなく巡回し、精度の高い検診を県民に等しく提供し、乳がんの早期発見、早期治療を図り県民の健康増進に寄与する。

(2) 実施内容

マンモグラフィ検診車

<http://www.toku-souken.ne.jp/information/upload/files/201803241216180407.pdf>

公益財団法人JKAの平成29年度検診車整備事業により、最新鋭のマンモグラフィ検診車を更新整備しました。

整備事業費 58,708,800円

内 公益財団法人JKAによる補助金 25,000,000円



検診車右側側面



X線管装置・撮影台

2 予想される事業実施効果

今回、整備した新しい検診車は、平面型X線検出器(フラットパネルディテクタ/FPD装置)を搭載した撮影装置を使用することで、現在のCR(コンピューテッドラジオグラフィ)を用いた装置と比べ、X線による被曝線量が大幅に削減される。

撮影から検像(画像確認)までの時間も短縮され、一人あたりの検査時間が短縮されることにより、受診者の方に安心して快適な乳がん検診を実施することが出来る。

一人あたりの検査時間短縮によるスループットの効率化により、1日あたりの検査数を1割程度増加可能である。こうしたメリットを最大限に生かし、より多くの市町村を効率的に巡回することにより更なる受診者数の増加が見込まれ、より多くの乳がんの早期発見・早期治療につながる。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

機関紙「健診センターだより」

<http://www.toku-souken.ne.jp/information/upload/files/201804181758480393.pdf>

がん等の生活習慣病予防の普及啓発用として、毎年1回発行している機関紙「健診センターだより」にマンモグラフィ検診車紹介を掲載し、市町村、事業所など関係機関に配布した。



機関紙「健診センターだより」

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人とくしま未来健康づくり機構
(コウエキザイダンホウジントクシマミライケンコウヅクリキコウ)

住 所： 〒770-0042
徳島市蔵本町1丁目10番地3

代 表 者： 代表理事 後藤田 博 (ゴトウダ ヒロシ)

担 当 部 署： 総務課 (ソウムカ)

担 当 者 名： 主査兼係長 柳谷教之 (ヤナギヤノリュキ)

電 話 番 号： 088-633-2266

F A X： 088-633-1811

E - m a i l： tokusoken@nifty.com

U R L： <http://www.toku-souken.ne.jp/>